

## 第2次世界大戦後の欧州統合

---

1945年5月 ヨーロッパにおける第2次世界大戦の終了（ドイツの降伏）

1946年9月 チャーチルがスイスのチューリッヒで「ヨーロッパ合衆国」創設の必要性を説く

1948年4月 アメリカの欧州経済復興計画「マーシャルプラン」の開始

6月 旧ソ連によるベルリン封鎖

1949年5月 欧州評議会（Council of Europe）の発足

8月 北大西洋条約機構（North Atlantic Treaty Organisation(NATO)）発足

1950年5月 シューマン宣言の発表

### 1952年7月 欧州石炭・鉄鋼共同体の発足

### 1958年1月 欧州経済共同体（European Economic Community（EEC））と欧州原子力共同体の発足

1960年5月 欧州自由貿易地域（European Free Trade Association（EFTA））の発足<sup>3</sup>

1967年7月 EEC、欧州石炭・鉄鋼共同体および欧州原子力共同体の諸機関の統一<sup>4</sup>

1970年10月 EC加盟国間で、欧州政治協力が正式に開始される。

1973年1月 ECにイギリス、アイルランド、デンマークが加盟

1979年3月 欧州通貨制度（European Monetary System(EMS)）の発足

1981年1月 ECにギリシャが加盟

1986年1月 ECにスペインとポルトガルが加盟

---

<sup>3</sup> EFTA設立条約は、1960年1月、イギリス、デンマーク、ポルトガル、ノルウェー、スウェーデン、スイス、オーストリアの7ヶ国により調印された。後に、アイスランド、フィンランド、リヒテンシュタインがEFTAに加盟しているが、イギリス、デンマーク、ポルトガル、スウェーデン、オーストリアおよびフィンランドは脱退し、EC（EU）に加盟した。

<sup>4</sup> 諸機関の統一は、1957年3月と1964年4月にEC加盟国間で締結された条約に基づいている。

1987年7月 単一欧州議定書の発効

1989年 東西冷戦の終結

1992年末 域内市場の完成

1993年11月 マーストリヒト条約（EU条約）および欧州共同体条約（EC条約）の発効  
欧州連合（European Union）の発足  
EECはEC（欧州共同体）に改名される。

1994年1月 欧州経済領域（European Economic Area（EEA））の発足<sup>5</sup>

1995年1月 EUにオーストリア、スウェーデン、フィンランドが加盟

1999年1月 欧州経済・通貨同盟の発足（11ヶ国が欧州単一通貨ユーロを導入）

1999年5月 アムステルダム条約の発効

2000年12月 EU基本権憲章の採択

2002年1月 欧州単一通貨（ユーロ）の流通開始（ギリシャを含む12ヶ国体制）  
7月 欧州石炭・鉄鋼共同体の消滅

2003年2月 ニース条約の発効

2004年5月 新たに10ヶ国がEUに加盟（東方拡大）

10月 欧州憲法条約の締結

2007年1月 ブルガリアとルーマニアがEUに加盟

2009年12月 リスボン条約が発効（→ ECが消滅し、EUに承継される）

2010年5月 ギリシャ危機（ユーロ危機）の深刻化

2013年7月 クロアチアのEU加盟（EUは28ヶ国体制へ）

---

<sup>5</sup> EEA設立条約は、1992年5月に、EC加盟国とEFTA加盟国によって締結された。